でわもり

2019
No.45
出羽庄内森林組合
広報

90年ぶりに建て替えられた羽黒山大鳥居

目 次 －CONTENTS－

2 組合長年頭挨拶
3 豪雨災害復旧支援の要望活動
組合員一日研修視察
4 新たな森林管理システムの紹介
5 補助制度の紹介
2019年度 森林施業申込み
6 新総代の紹介
7 平成30年度地域座談会の開催について
大網地域交流センターの建設について
庄内森とみどりのフェスティバル
8 木材市況・きのこ種菌・おらほの林業人

JForest 出羽庄内森林組合

本所	〒999-7542	鶴岡市水沢字山ノ腰31－1	TEL.0235－35－2515	FAX.0235－35－2556
立川出張所	〒999-6601	庄内町狩川字堅田20－2	TEL.0234－56－2020	FAX.0234－56－2045
朝日出張所	〒997-0404	鶴岡市下名川字落合3	TEL.0235－53－2155	FAX.0235－53－2661
製材工場	〒997-0403	鶴岡市越中山字立岩12－1	TEL.0235－53－2595	FAX.0235－53－2595

組合長年頭挨拶

出羽庄内森林組合
代表理事組合長　菅原　勝

新年、明けましておめでとうございます。

組合員の皆様には、つつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中におきましては、本組合の事業運営に特段のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。また、昨年は総代選挙の年でしたが、各地区から予定どおり総代をご選出いただき心から感謝を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと七月の西日本豪雨、九月の北海道胆振東部地震、また、六月から九月にかけての一連の台風により家屋や道路の浸水、農地の冠水、山林の崩壊等、一昨年に引続き自然の脅威をまざまざと感じる一年となりました。県内においては、八月に発生した豪雨災害により管内の農地や林道等にも大きな被害があり、森林組合が開設した林業専用道も被災したことから、その復旧支援について鶴岡市長に要望書を提出したところです。

経済情勢は、企業収益が過去最高となる中、設備投資が増加するとともに、雇用・所得環境の改善により個人消費の持ち直しが続くなど、ゆるやかな回復が続いています。

一方、森林・林業をめぐっては、戦後造林された人工林の多くが本格的な利用期を迎える中、手入れの行き届かない山林が増えていることから、これらを集約して整備するための新たな法律「森林経営管理法」が五月に可決成立し、来年度から法律に基づく各種施策を実行するための「森林環境譲与税」が県や市町村に交付されることとなっています。

県内においては、県が提唱する「やまがた森林ノミクス」が推進される中、置賜地域や最上地域で新たな木質バイオマス発電所が稼働するとともに、庄内地域においても酒田市に東北地方最大級の木質系バイオマス発電所が八月に商業運転を開始しており、管内の木材需要は飛躍的に増大しています。

こうした中、組合では平成二十七年度に策定した「第一次中期経営計画」に基づき、各部門の事業に鋭意取り組んでいます。主なものとして、森林経営計画については朝日越中山地区での計画策定の準備を進めるとともに、既存の計画に基づき鶴岡砂谷地区や狩川大堰台地区等において作業道を開設し間伐材を搬出しています。国有林については東増川山地区や天狗森地区で皆伐事業、温海川地区で搬出間伐事業を行うとともに、県市町が発注する松くい虫防除事業や県企業局が発注する寿岡連絡送電線立木伐採事業等、公共事業にも積極的に取り組んでいます。また、加工部門については鶴岡市が発注する大網地域交流センター（仮称）や保育園改築工事の構造材等の納入を受注しています。さらに、「組合員一日研修」については鶴岡市羽黒庁舎や羽黒高等学校を視察し多くの組合員から地域材利用の現状を研修いただきました。これらについては、二月下旬に開催する地域座談会や組合広報等で詳しい情報を提供して参りたいと考えています。

本年五月には新天皇が即位され新たな時代の幕開けとなりますが、今後とも、組合の経営理念及び経営ビジョンの下、組織の充実強化を図り事業の拡大及び収益性の向上に努めて参りたいと考えておりますので皆様の一層のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

結びに、今年一年の組合員の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げますとともに、関係各位の尚一層のご支援・ご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。

林業専用道の災害復旧を鶴岡市長へ要望

昨年８月の最上地方を中心に発生した豪雨災害により、鶴岡市管内においても森林組合が開設した林業専用道等が被災したことから、９月21日に温海町森林組合の本間組合長とともに復旧支援の要望書を鶴岡市長へ提出しました。市当局からは皆川市長はじめ担当部課長等からご対応いただき、市長からは、今回の豪雨災害は山間部の農地や林道等に甚大な被害を与えており県にも復旧支援を要望している。市としても県の支援のみでは対応が不十分なことから市独自の支援措置を検討している旨、回答をいただきました。今後とも地球温暖化による自然災害は多発することが予想されることから、林道等の林業施設が被災した場合には県市等行政機関による迅速な災害復旧や支援措置を期待するものです。

要望書を提出した両組合長

砂谷少連寺線の被災状況

組合員の一日研修を開催しました

平成30年度の組合員一日研修を10月19日に開催しました。今回の研修は鶴岡市内で行われ、総勢112名と多くの組合員からご参加頂きました。午前中は２班に分かれ鶴岡市羽黒庁舎及び羽黒高等学校を視察しました。羽黒庁舎では、担当職員から地元の市有林や羽黒神社のご神木を活用して建築されたことなど、丁寧な説明がありました。また、羽黒高等学校では、事務長から50年前に生徒たちが植林した学校林を活用していることやCLT（直交集成板）工法を活用した国内初の木造３階建て校舎との説明を受けました。

両建築物ともに地元スギ材をふんだんに活用した建物であり、組合としても今後の公共建築物への地元材の活用に大いに期待できる研修となりました。来年度も引き続き多くの組合員の皆様のご参加をお待ちしております。

羽黒神社ご神木の活用

羽黒高等学校の様子

新たな森林管理システムがスタートします

昨年５月25日に国の新たな法律である「森林経営管理法」が可決成立し、来年度から「新たな森林管理システム」がスタートします。その背景は、戦後植林された国内の人工造林地において資源が充実し主伐期を迎えつつありますが、森林現場は山林所有者の経営意欲の低下等により手入れや木材生産が十分に行われていない山林が多くあることにあります。その仕組みは、山林所有者に適切な経営管理を行わなければならない責務があることを明確にした上で、自らが実行できない場合に市町村が経営管理権を設定し森林を適切に管理していくもので、その概要は以下のとおりです。

この仕組みの下で、市町村が行う公的管理としての森林整備や、所有者の意向調査・境界画定、人材育成・担い手確保などのシステムを円滑に行う財源として、森林環境譲与税が平成31年度から県や市町村に交付されることとなっています。

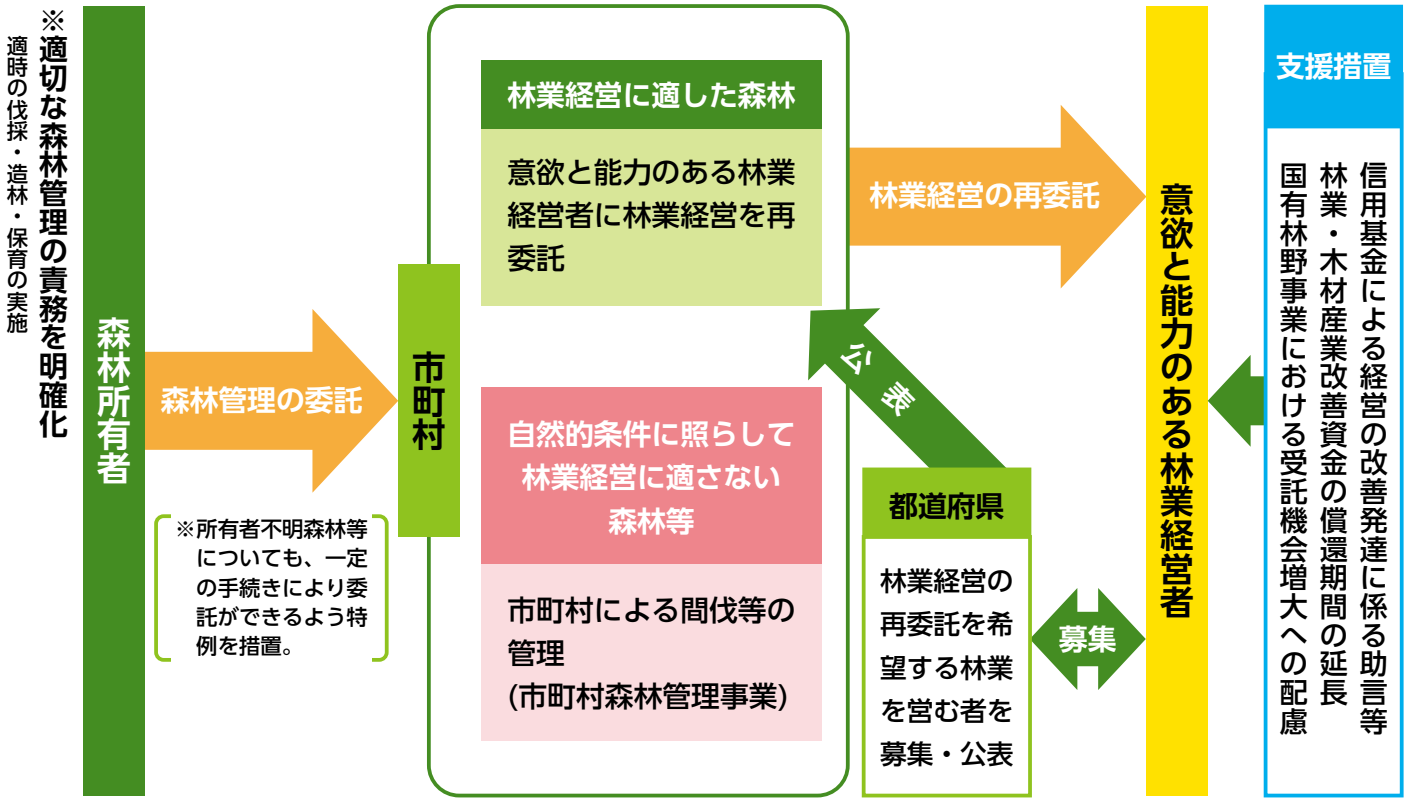
森林経営管理法（新たな森林管理システム）の概要

林業経営の効率化及び森林の管理の適正化の一体的な促進を図るため、以下の新たな森林管理の仕組みを措置。

① 森林所有者に適切な森林管理を促すため、森林管理の責務を明確化するとともに

② 森林所有者自らが森林管理を実行できない場合に、市町村が森林管理の委託を受け意欲と能力のある林業経営者に再委託する。

③ 再委託できない森林及び再委託に至るまでの間の森林においては、市町村が管理を行う。



補助制度の紹介

	事業名	対象作業種	要件等
①	支援事業(山形県) 補助率　68%	造林・下刈・雪起し・枝打ち・除伐 保育間伐・搬出間伐 森林作業道	**・森林経営計画が必要** ・面積0.1ha以上(搬出間伐以外) ・搬出間伐は5ha以上、10㎥/ha以上搬出 搬出量に応じて補助金区分あり (例外：造林・下刈・雪起し…計画なし又は代理申請でも実施可能。補助率は36%)
②	成長産業化事業(山形県) (林業･木材成長産業化促進対策事業) 定額補助	搬出間伐 森林作業道	・平成30年度からの新規事業 **・森林経営計画が必要** ・面積0.1ha以上、木材搬出が必要
③	美しい森林事業 (鶴岡市　補助率　68%) (庄内町　補助率　99%)	保育間伐 搬出間伐	・市町村の計画（特定間伐促進計画）に記載必要 ・間伐面積0.1ha以上で申請可能 ・代理申請も可（作業実施前年度の申込必要）
④	緑環境税事業(山形県)	保育間伐・搬出間伐 森林作業道 里山林整備 再造林	・県知事との協定必要 ・60年生以下 ・10年以上施業していない森林が対象 ・再造林、搬出間伐は支援事業の嵩上げ
⑤	森林再生促進事業(鶴岡市)	再造林・下刈	・支援事業の嵩上げ補助
⑥	作業道開設事業(鶴岡市)	森林作業道	・支援事業等の嵩上げ補助
⑦	作業道改良事業(鶴岡市)	森林作業道	敷砂利　1,500円/m
⑧	森林再生基金 (山形県再造林推進機構)	再造林	支援事業の嵩上げ補助（**森林経営計画が必要**） ・平成30年度からの新規事業

2019年度　森林施業申込受付中

山の手入れは森林組合にお任せください

作業種	面積		補助対象林齢	補助条件
造林	0.1ha以上		－	ス　ギ：2,100本/ha以上 広葉樹：2,000本/ha以上
下刈			1～10年生	コンテナ苗を植栽した場合は５年生まで
雪起し			1～25年生	
枝打			11～30年生	700本/ha以上 ※間伐と一体的に行う場合は60年生まで
除伐			11～25年生	
保育間伐			26～35年生	
搬出間伐	①	１団地５ha以上	26～60年生	森林経営計画に基づく場合は100年生まで
	②	0.1ha以上		
森林作業道	幅員3.0m		－	

※保育間伐…従来の切捨て間伐
※搬出間伐…①支援事業での集約化間伐の場合（搬出材積10㎥以上/ha）
②支援事業以外の場合

補助対象になるかどうかは、計画の有無やその他条件により異なります。
また、補助対象でなくても、整備依頼受け付けておりますので、お気軽にご相談ください。
下刈りの代理申請を予定している方も申込書の提出をお願いいたします。

申込書に必要事項を記載の上、３月31日までに申込ください。

新総代名簿

昨年八月二十八日に選出されました新総代二五〇名の方々です。三年間よろしくお願いいたします。

二〇一八年九月四日～二〇二一年九月三日

●第一区（鶴岡）

石井信一　佐々木佐市　和田喜久男　佐藤順一　渡部惣一　金丸正芳　須藤清　高山篤雄　若生一雄　本間昇　小田登喜雄　今野和男　尾形時雄　五十嵐兵一　皆川和中　成澤作治　木村三男　佐藤優　冨樫護　斎藤政司　菅原信夫　本間正博　五十嵐敦　武田義広　小林政志　栗本隆　三浦元一　長谷川昌輝　榎本理

伊藤均　長谷川邦雄　石井誠　佐藤昭　富樫孝一　菅原庄一　長谷川清　長谷川鉄次　伊藤龍一郎　石井善兵衛　土岐耕治　今野富士弥　今野一男　長谷川清利　斎藤松右衛門　諏訪一男　小松士郎　佐藤光雄　加藤和彌　加藤周一　加藤善五郎　鈴木正　小笠原重雄　佐藤貞直　石塚学　齋藤隆　佐藤一雄　佐藤謙一　柳澤儀一　本間暁

栗本正志　砂田専一郎　柴田豊太郎　本間隆一　遠見昌圀　長谷川長吉　佐藤邦郎　阿部正利　阿部幸雄　本間次男　阿部富太郎　阿部元成　齋藤和則　佐藤節子　齋藤義雄　菅原博光　佐藤益雄　齋藤敬　森居市　佐藤一郎　内藤孝一　小林義廣　小林喜信　志田喜一　齋藤勉　齋藤重彌　阿部功　小林和夫　秋葉充　本間洋一　佐藤正夫　斎藤一美　佐藤和喜　佐藤光一　渡辺富雄　勝木正人　秋元英男　山本義男　宮田仁　清和忠一　清和誠一　遠藤新一　鈴木孝治　生田泰久　阿部努　菅原淳一　菅原孫一　五十嵐仁美　伊藤政行　伊藤喜蔵　上野正義　遠藤幸雄　菅原広美　齋藤仁助　佐藤健一　平藤丈司　今野政幸　冨樫新悦　井上真　黒井晃　伊藤敏夫　大滝清策　工藤悦夫　工藤友二　佐藤勝昭　佐藤吉正　長南忠勝　大滝弘雄　岡本孝勇　亀井龍夫　鈴木文夫　佐藤信弘　冨樫三男　鈴木憲一　今井正雄　佐藤永里雄　阿部勝美　丸山良治　丸山仁　金内弘一　伊藤勝男　佐藤喜一郎　佐藤義一　松澤弥一　伊藤正喜　奥山昭一　佐藤均　田澤富雄　本間拓　剱持芳也　門脇修一　日向與一　渡部定雄　青木忠　長谷川長吉　乙坂祐一　乙坂正行　我孫子広　斎藤隆　成澤透　菅原新一　佐藤節子　齋藤義雄　森居市　齋藤敬　佐藤一郎　小林喜信　小林義廣　志田喜一　齋藤勉　齋藤重彌　阿部功　小林和夫　秋葉充　本間洋一　佐藤正夫　斎藤一美　佐藤和喜　佐藤光一　渡辺富雄　勝木正人　秋元英男　山本義男　宮田仁　清和忠一　清和誠一　遠藤新一　鈴木孝治　生田泰久　阿部努　菅原淳一　菅原孫一　五十嵐仁美　伊藤政行　伊藤喜蔵　上野正義　遠藤幸雄　菅原広美　齋藤仁助　佐藤健一　平藤丈司　今野政幸　冨樫新悦　井上真　黒井晃　伊藤敏夫　大滝清策　工藤悦夫　工藤友二　佐藤勝昭　佐藤吉正　長南忠勝　大滝弘雄　岡本孝勇　亀井龍夫　鈴木文夫　佐藤信弘　冨樫三男　鈴木憲一　今井正雄　佐藤永里雄　阿部勝美　丸山良治　丸山仁　金内弘一　伊藤勝男　佐藤喜一郎　佐藤義一　松澤弥一　伊藤正喜　奥山昭一　佐藤均　田澤富雄　本間拓　剱持芳也　門脇修一　日向與一　渡部定雄　青木忠　長谷川長吉　乙坂祐一　乙坂正行　我孫子広　斎藤隆　成澤透　菅原新一　佐藤節子　齋藤義雄　森居市　齋藤敬　佐藤一郎　小林喜信　小林義廣　志田喜一　齋藤勉　齋藤重彌　阿部功　小林和夫　秋葉充　本間洋一　佐藤正夫　斎藤一美　佐藤和喜　佐藤光一　渡辺富雄　勝木正人　秋元英男　山本義男　宮田仁　清和忠一　清和誠一　遠藤新一　鈴木孝治　生田泰久　阿部努　菅原淳一　菅原孫一　五十嵐仁美　伊藤政行　伊藤喜蔵　上野正義　遠藤幸雄　菅原広美　齋藤仁助

●第二区（立川）

以上七十四名

清野仁　太田實　加藤和彌　加藤周一　加藤善五郎　小笠原重雄　佐藤貞直　石塚学　齋藤隆　佐藤一雄　佐藤謙一　柳澤儀一　本間暁　栗本正志　砂田専一郎　柴田豊太郎　本間隆一　遠見昌圀　長谷川長吉　佐藤邦郎　阿部正利　阿部幸雄　本間次男　阿部富太郎　阿部元成　齋藤和則　佐藤節子　齋藤義雄　菅原博光　佐藤益雄　齋藤敬　森居市　佐藤一郎　内藤孝一　小林義廣　小林喜信　志田喜一　齋藤勉　齋藤重彌　阿部功　小林和夫　秋葉充　本間洋一　佐藤正夫　斎藤一美　佐藤和喜　佐藤光一　渡辺富雄　勝木正人　秋元英男　山本義男　宮田仁　清和忠一　清和誠一　遠藤新一　鈴木孝治　生田泰久　阿部努　菅原淳一　菅原孫一　五十嵐仁美　伊藤政行　伊藤喜蔵　上野正義　遠藤幸雄　菅原広美　齋藤仁助　佐藤健一　平藤丈司　今野政幸　冨樫新悦　井上真　黒井晃　伊藤敏夫　大滝清策　工藤悦夫　工藤友二　佐藤勝昭　佐藤吉正　長南忠勝　大滝弘雄　岡本孝勇　亀井龍夫　鈴木文夫　佐藤信弘　冨樫三男　鈴木憲一　今井正雄　佐藤永里雄　阿部勝美　丸山良治　丸山仁　金内弘一　伊藤勝男　佐藤喜一郎　佐藤義一　松澤弥一　伊藤正喜　奥山昭一　佐藤均　田澤富雄　本間拓　剱持芳也　門脇修一　日向與一　渡部定雄　青木忠　長谷川長吉　乙坂祐一　乙坂正行　我孫子広　斎藤隆　成澤透　菅原新一　佐藤節子　齋藤義雄　森居市　齋藤敬　佐藤一郎　小林喜信　小林義廣　志田喜一　齋藤勉　齋藤重彌　阿部功　小林和夫　秋葉充　本間洋一　佐藤正夫　斎藤一美　佐藤和喜　佐藤光一　渡辺富雄　勝木正人　秋元英男　山本義男　宮田仁　清和忠一　清和誠一　遠藤新一　鈴木孝治　生田泰久　阿部努　菅原淳一　菅原孫一　五十嵐仁美　伊藤政行　伊藤喜蔵　上野正義　遠藤幸雄　菅原広美　齋藤仁助

●第三区（藤島）

以上五十一名

石向正幸　太田信也　加藤美喜雄　佐久間満　草島一男　叶野甚右ェ門　佐藤豊夫　上林志朗　原田正秋　高山卓博　石川三津好　我孫子恵一　田中壽一　加藤民雄　浅賀正　成澤裕一　川井正芳　富樫常喜　佐藤均　佐藤喜一郎　伊藤勝男　金内弘一　丸山仁　丸山良治　阿部勝美　今井正雄　佐藤永里雄　寒河江晴雄　齋藤芳廣　佐藤信弘　庄司幸雄　佐藤廣昭　渡部政昭　小林実　渡部和三　渡部光一　遠藤正之　大滝繁喜　五十嵐久一　蛸井正信　清和誠一　佐々木勇　遠藤一男　渋谷昭明　菅原輝康　成田誠利　成田政太　佐藤信男　鈴木修　佐久間房司　長南源一　佐藤健一　平藤丈司　今野政幸　冨樫新悦　井上真　黒井晃　伊藤敏夫　大滝清策　工藤悦夫　工藤友二　佐藤勝昭　佐藤吉正　長南忠勝　大滝弘雄　岡本孝勇　亀井龍夫　鈴木文夫　佐藤信弘　冨樫三男　鈴木憲一　今井正雄　佐藤永里雄　阿部勝美　丸山良治　丸山仁　金内弘一　伊藤勝男　佐藤喜一郎　佐藤義一　松澤弥一　伊藤正喜　奥山昭一　佐藤均　田澤富雄　本間拓　剱持芳也　門脇修一　日向與一　渡部定雄　青木忠　長谷川長吉　乙坂祐一　乙坂正行　我孫子広　斎藤隆　成澤透　菅原新一　佐藤節子　齋藤義雄　森居市　齋藤敬　佐藤一郎　小林喜信　小林義廣　志田喜一　齋藤勉　齋藤重彌　阿部功　小林和夫　秋葉充　本間洋一　佐藤正夫　斎藤一美　佐藤和喜　佐藤光一　渡辺富雄　勝木正人　秋元英男　山本義男　宮田仁　清和忠一　清和誠一　遠藤新一　鈴木孝治　生田泰久　阿部努　菅原淳一　菅原孫一　五十嵐仁美　伊藤政行　伊藤喜蔵　上野正義　遠藤幸雄　菅原広美　齋藤仁助

●第四区（羽黒）

以上十六名

宮田仁　山本義男　秋元英男　勝木正人　渡辺富雄　斎藤一美　佐藤和喜　本間洋一　齋藤正夫　齋藤勝　山口洋一　工藤精　佐藤喜一郎　伊藤勝男　金内弘一　丸山仁　丸山良治　阿部勝美　今井正雄　佐藤永里雄　寒河江晴雄　齋藤芳廣　佐藤信弘　庄司幸雄　佐藤廣昭　渡部政昭　小林実　渡部和三　渡部光一　遠藤正之　大滝繁喜　五十嵐久一　蛸井正信　清和誠一　佐々木勇　遠藤一男　渋谷昭明　菅原輝康　成田誠利　成田政太　佐藤信男　鈴木修　佐久間房司　長南源一　佐藤健一　平藤丈司　今野政幸　冨樫新悦　井上真　黒井晃　伊藤敏夫　大滝清策　工藤悦夫　工藤友二　佐藤勝昭　佐藤吉正　長南忠勝　大滝弘雄　岡本孝勇　亀井龍夫　鈴木文夫　佐藤信弘　冨樫三男　鈴木憲一　今井正雄　佐藤永里雄　阿部勝美　丸山良治　丸山仁　金内弘一　伊藤勝男　佐藤喜一郎　佐藤義一　松澤弥一　伊藤正喜　奥山昭一　佐藤均　田澤富雄　本間拓　剱持芳也　門脇修一　日向與一　渡部定雄　青木忠　長谷川長吉　乙坂祐一　乙坂正行　我孫子広　斎藤隆　成澤透　菅原新一　佐藤節子　齋藤義雄　森居市　齋藤敬　佐藤一郎　小林喜信　小林義廣　志田喜一　齋藤勉　齋藤重彌　阿部功　小林和夫　秋葉充　本間洋一　佐藤正夫　斎藤一美　佐藤和喜　佐藤光一　渡辺富雄　勝木正人　秋元英男　山本義男　宮田仁　清和忠一　清和誠一　遠藤新一　鈴木孝治　生田泰久　阿部努　菅原淳一　菅原孫一　五十嵐仁美　伊藤政行　伊藤喜蔵　上野正義　遠藤幸雄　菅原広美　齋藤仁助

●第五区（櫛引）

以上二十六名

渡部和三　渡部光一　遠藤正之　大滝繁喜　五十嵐久一　蛸井正信　清和誠一　佐々木勇　遠藤一男　渋谷昭明　菅原輝康　成田誠利　成田政太　佐藤信男　鈴木修　佐久間房司　長南源一　佐藤喜一郎　伊藤勝男　金内弘一　丸山仁　丸山良治　阿部勝美　今井正雄　佐藤永里雄　寒河江晴雄　齋藤芳廣　佐藤信弘　庄司幸雄　佐藤廣昭　渡部政昭　小林実　佐藤和三　佐藤吉正　長南忠勝　大滝弘雄　岡本孝勇　亀井龍夫　鈴木文夫　佐藤信弘　冨樫三男　鈴木憲一　今井正雄　佐藤永里雄　阿部勝美　丸山良治　丸山仁　金内弘一　伊藤勝男　佐藤喜一郎　佐藤義一　松澤弥一　伊藤正喜　奥山昭一　佐藤均　田澤富雄　本間拓　剱持芳也　門脇修一　日向與一　渡部定雄　青木忠　長谷川長吉　乙坂祐一　乙坂正行　我孫子広　斎藤隆　成澤透　菅原新一　佐藤節子　齋藤義雄　森居市　齋藤敬　佐藤一郎　小林喜信　小林義廣　志田喜一　齋藤勉　齋藤重彌　阿部功　小林和夫　秋葉充　本間洋一　佐藤正夫　斎藤一美　佐藤和喜　佐藤光一　渡辺富雄　勝木正人　秋元英男　山本義男　宮田仁　清和忠一　清和誠一　遠藤新一　鈴木孝治　生田泰久　阿部努　菅原淳一　菅原孫一　五十嵐仁美　伊藤政行　伊藤喜蔵　上野正義　遠藤幸雄　菅原広美　齋藤仁助

●第六区（朝日）

以上三十名

大滝清策　工藤悦夫　工藤友二　佐藤勝昭　佐藤吉正　長南忠勝　大滝弘雄　岡本孝勇　亀井龍夫　鈴木文夫　佐藤信弘　冨樫三男　鈴木憲一　今井正雄　佐藤永里雄　阿部勝美　丸山良治　丸山仁　金内弘一　伊藤勝男　佐藤喜一郎　佐藤義一　松澤弥一　伊藤正喜　奥山昭一　佐藤均　田澤富雄　本間拓　剱持芳也　門脇修一　日向與一　渡部定雄　青木忠　長谷川長吉　乙坂祐一　乙坂正行　我孫子広　斎藤隆　成澤透　菅原新一　佐藤節子　齋藤義雄　森居市　齋藤敬　佐藤一郎　小林喜信　小林義廣　志田喜一　齋藤勉　齋藤重彌　阿部功　小林和夫　秋葉充　本間洋一　佐藤正夫　斎藤一美　佐藤和喜　佐藤光一　渡辺富雄　勝木正人　秋元英男　山本義男　宮田仁　清和忠一　清和誠一　遠藤新一　鈴木孝治　生田泰久　阿部努　菅原淳一　菅原孫一　五十嵐仁美　伊藤政行　伊藤喜蔵　上野正義　遠藤幸雄　菅原広美　齋藤仁助　佐藤健一　平藤丈司　今野政幸　冨樫新悦　井上真　黒井晃　伊藤敏夫　大滝清策　工藤悦夫　工藤友二　佐藤勝昭　佐藤吉正　長南忠勝　大滝弘雄　岡本孝勇　亀井龍夫　鈴木文夫　佐藤信弘　冨樫三男　鈴木憲一　今井正雄　佐藤永里雄　阿部勝美　丸山良治　丸山仁　金内弘一　伊藤勝男　佐藤喜一郎　佐藤義一　松澤弥一　伊藤正喜　奥山昭一　佐藤均　田澤富雄　本間拓　剱持芳也　門脇修一　日向與一　渡部定雄　青木忠　長谷川長吉　乙坂祐一　乙坂正行　我孫子広　斎藤隆　成澤透　菅原新一　佐藤節子　齋藤義雄　森居市　齋藤敬　佐藤一郎　小林喜信　小林義廣　志田喜一　齋藤勉　齋藤重彌　阿部功　小林和夫　秋葉充　本間洋一　佐藤正夫　斎藤一美　佐藤和喜　佐藤光一　渡辺富雄　勝木正人　秋元英男　山本義男　宮田仁　清和忠一　清和誠一　遠藤新一　鈴木孝治　生田泰久　阿部努　菅原淳一　菅原孫一　五十嵐仁美　伊藤政行　伊藤喜蔵　上野正義　遠藤幸雄　菅原広美　齋藤仁助

小野寺哲　難波定男　佐藤八重治　伊藤市郎　渡部努　渡部修一　阿部新一　佐藤宥男　佐藤清　難波東治　阿部剛　遠藤稔　遠藤一郎　遠藤正　渡部貞夫　井上秀夫　佐藤晃　佐藤多文　今野新一　佐藤朝義　清野勝義　佐藤勝昭　佐藤吉正　長南忠勝　大滝弘雄　岡本孝勇　亀井龍夫　鈴木文夫　佐藤信弘　冨樫三男　鈴木憲一　今井正雄　佐藤永里雄　阿部勝美　丸山良治　丸山仁　金内弘一　伊藤勝男　佐藤喜一郎　佐藤義一　松澤弥一　伊藤正喜　奥山昭一　佐藤均　田澤富雄　本間拓　剱持芳也　門脇修一　日向與一　渡部定雄　青木忠　長谷川長吉　乙坂祐一　乙坂正行　我孫子広　斎藤隆　成澤透　菅原新一　佐藤節子　齋藤義雄　森居市　齋藤敬　佐藤一郎　小林喜信　小林義廣　志田喜一　齋藤勉　齋藤重彌　阿部功　小林和夫　秋葉充　本間洋一　佐藤正夫　斎藤一美　佐藤和喜　佐藤光一　渡辺富雄　勝木正人　秋元英男　山本義男　宮田仁　清和忠一　清和誠一　遠藤新一　鈴木孝治　生田泰久　阿部努　菅原淳一　菅原孫一　五十嵐仁美　伊藤政行　伊藤喜蔵　上野正義　遠藤幸雄　菅原広美　齋藤仁助

以上五十三名

なお、第三区の佐久間満さんは昨年お亡くなりになられましたので、現在、総代は二四九名となっております。

地域座談会が開催されます

平成31年２月下旬に恒例となります地域座談会を地区ごとに開催します。開催日程は推進委員を通じてお知らせしますので組合員の参加をお待ちしております。

大網地域交流センター(仮称)の安全祈願祭開催

鶴岡市大網の小学校跡地で市が新築工事を進める「大網地域交流センター（仮称）」の安全祈願祭が昨年９月６日現地で開催され、菅原組合長、亀井課長が出席しました。

山間部の人口減少が進む中、安心して暮らし続けられる「小さな拠点」のモデルとして、総工費約１億３千万円で整備されるもので、構造材の搬入を当組合が請け負いました。

安全祈願祭の様子

建設が進む交流センター

本年４月からの供用開始を予定しており、地域の活性化に繋がることを期待しています。

庄内森とみどりのフェスティバル

庄内森と緑のフェスティバルが10月13日、14日の両日、小真木原公園で開催されました。組合では、この度もきのこ等特用林産物の販売やナメコ汁のふるまい、丸太切り競争を行いました。２日間とも秋晴れに恵まれ多くの来場者がありました。特に、恒例の丸太切り競争は多くの子供から参加いただき、２日目は終了時間を過ぎても慣れないノコギリで一生懸命に丸太切りを行う姿が見られました。両日共に多くの方々からご来場頂きありがとうございました。来年度も沢山の方々のご来場をお待ちしております。

特用林産物の販売

丸太切りに挑戦

平成30年度 山形県森連木材流通センター 12月市況

単位　円／㎥

天童

市日	樹種	長級(m)	径級(cm)	高値(円)	中値(円)	安値(円)	前回比	備考
第1219回 12月10日	スギ	4.00	36上	15,480	13,680	−	○	選木
	〃	〃	30上					
	〃	〃	20上	12,600	11,880	9,000	○	
	〃	〃	14〜18	−	10,080	9,360	○	
	〃	〃	13下					
	〃	3.65	20上					
	〃	〃	14〜18					
	〃	3.00	20上	13,680	12,240	10,800	○	
	〃	〃	14〜18					
概要				販売量　149㎥　買方　6人				

市日	樹種	長級(m)	径級(cm)	高値(円)	中値(円)	安値(円)	前回比	備考
第1220回 12月25日	スギ	4.00	36上	48,600	13,680	10,080	△	選木
	〃	〃	30上					
	〃	〃	20上	13,680	11,880	11,160	○	
	〃	〃	14〜18	11,232	10,440	−	△	
	〃	〃	13下	9,720	9,000	−	△	
	〃	3.65	20上					
	〃	〃	14〜18					
	〃	3.00	20上	13,680	12,240	−	○	
	〃	〃	14〜18					
概要				販売量　348㎥　買方　16人				

庄内

市日	高値(円)	中値(円)	安値(円)	前回比	備考
第245回 12月18日	−	12,240	−	○	
	12,672	11,520	−	○	
	−	10,080	9,720	○	
	−	8,800	8,280	○	
	12,924	11,880	11,520	○	
	−	10,440	10,080	○	
	12,600	11,520	9,000	△	
	11,340	10,080	−	△	
販売量　870㎥　買方　15人					

市日	高値(円)	中値(円)	安値(円)	前回比	備考
第回 月日					
販売量　㎥　買方　人					

△高　○保合　●安

（市況概要）

天童共販所

12/25に納市を開催しましたが、優良選木材が多数出品され、県内外の買い方より積極的に買い込まれました。

普段出品の少ない角目材・杭材については、折からの在庫不足から、高値にて応札されました。

しかしながら、中目一般材の荷動きが鈍い状態が続いております。

一年間ありがとうございました。平成31年度もよろしくお願いいたします。

（市況概要）

庄内共販所

納市を開催しました。

定尺一般材が中心の入札でした。荷動きは良く、3.00m材の中目、角目ともに完売でした。不足の3.65m材には応札が集中しました。価格は横這えです。

平成30年度の共販もお陰様で無事に終えることができました。丸太不足の為、何かとご無理なお願いをしてしまいご迷惑をおかけしました。平成31年度は安定供給、品質の維持安定に努めていきたいと思いますので、尚一層のご協力をお願いいたします。

おらほの林業人 Vol.6

渡部　剛

（鶴岡市羽黒町）

58歳（林業歴 20年）

●今後の目標

組合に入って20年ほどになります。仕事は安全第一を心がけながらも、効率良く作業を行うよう努めています。後輩もたくさんいますので、日々一緒に切磋琢磨しながら頑張っていきたいと思います。

きのこ種菌の注文受付中

当組合ではきのこ種菌を販売しております。
ぜひご利用ください。

31年春植え用（4月上旬入荷予定）

本　　所：**0235-35-2515**

朝日出張所：**0235-53-2155**
（火･金 営業）

取扱品種

- シイタケ（春出）
- シイタケ（春秋）
- ナ メ コ（中生）

※上記以外の時期も取り扱っていますのでご相談ください。

取扱メーカー

- 河村式（ 500コマ入/瓶）1,350円(税抜)
- 森　式（1,000コマ入/袋）3,300円(税抜)